

会社 探訪

ケーワンシステム(札幌市、原田慶一社長)は、北海道地区で二重床下地工事を中心に事業を展開する。二重床の主力である集合住宅での占有率が低いといわれる北海道地区で同社は、遮音性能だけでなく二重床の特徴を積極的に提案することで市場を広げ、年商約2億4000万円(2015年6月期)に成長した。さらに、二重床で長年取引のある万協供給による、屋外用支持脚を用いた独自の外構提案「K-1デッキ」に2年前から進出。このほどデッキの材工受注強化を目指すし、東京事務所も開設した。

同社は、内装向け鋼 見いだしてその材工展 製下地メーカー勤務の 開に着手。長年の地道 経験を持つ原田社長が な取り組みにより、今 立ち上げた。メーカー では道内で二重床施工 時代は鋼製床下地を取 のトップシェアの一角 り扱っていたが、二重 を占める。設計事務所 床システムに将来性を 向けの提案も得意で、

集合住宅はもちろん非 住宅分野での二重床施 工の実績も多く重ねて いる。現在スタッフは 役員を含めて14人で、 稼働職人の半数以上を 社員で占めている点も 特徴だ。施工品質の安 定化に配慮している。

同社の今期決算(6 月)は3億円程度を見 込む。このうち二重床 施工が2億5000万



原田 社長

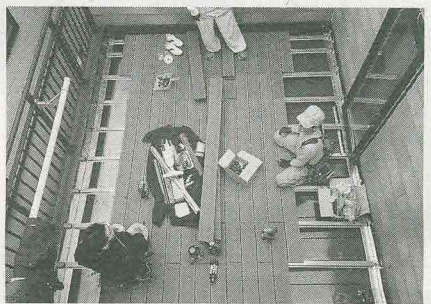
円程度を占め、システ ムメーカー万協ととも に「万協フロアー」北 海道地区特約販売店と して普及を進めてい る。同社は北海道地区 で万協フロアー普及を 目指した「北海道万協 会」の事務局も務めて

道内二重床、デッキ施工の二本柱

ケーワンシステム(北海道)

独自仕様のデッキを道外で材工受注へ

独自の仕様と確かな施工で支える 社員職人の充実化を進める



実績も増えてきた。

長年の床下地の施工 実績と信頼を基に2年 を防ぎ、植物の発育促 前から進出したのがデ ッキ施工だ。下地には 万協の屋外用支持脚と、耐食性に優れた日 新製鋼の鋼板「Z A M」を自社加工した根 太鋼、大引き鋼で構成 する独自のK-1デッキ を考案。デッキには 積水化学工業の人工木

デッキ「アシエラウッ ド」を仕様化し、ムクを 望む層向けとしてニュ ーシリーズ産ラジア にも強い耐風圧、遮音

タ松も提案する。 屋上緑化用途と して同じく独自仕 様のユニット「E Gフロアリング M K-1」の搭載 も可能だ。K-1 デッキ上に設置で き、施工性能の向 上やデッキ材と入 れ替えができるこ いった利点が備わ る。ユニットの土 には松と杉を混ぜ

合わせた「Eソイル」 を取り入れ、虫の発生 を防ぎ、植物の発育促 進と、健康状態を保つ などの効果をもたら す。 K-1デッキの施工 は文教、公共、老健、 商業など各物件種別で 施工実績を重ねてお ける独自のK-1デッキ 3550万円、今期5 080万円、来期80 00万円、17年6月期 が1億円、18年6月期 が1億5000万円と 上昇の計画を立てる。 電話03・5844・ 6760。

の各種性能を備えるほ の近畿以西での展開を 弾みとして、同社独自 工法のさらなる普及を 加味した。 「主力の集合住宅用 二重床施工案件は道内 のタワーマンション向 けなどで当面仕事量の 見通しが立っている が、その先のことも考 えてデッキの充実化を 図っていく。東京事務 所は既存事業者との連 携も探り、実績を重ね ていきたい。収益を重 視するのでいたが、将来 量は追わないが、将来 的には二重床、デッキ 合わせて、万協フロア

強化はもとより、社員 1 施工実績を年10万 平方メートルに引き上げる のが目標だ(原田社長)。

メモ

システム 札幌市西区八軒7条西3 1-3-23 電話011-631-6111 東京事務所 東京都文 京区後楽2-19-7 電話03-5844-6760